

時津町は「家読」を推進しています

# たまには テレビをけして

ようじむ 2025年 ねん ふゆごう  
幼児向け 2025年 冬号



とぎつちょうりつとぎつとしょかん  
発行：時津町立時津図書館

## うちどく 家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく（家読）」です。難しいルールは要りません。家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



Illustrator ATSUKO



「まるがかけたら」  
武田 美穂 // 作 絵  
(理論社)

まるがかけたら、どんどん線を足していくよ。すると、人の形になって、「ぼうくん」がかけたよ。ぼうくんのお願いをきいて、線をかいていくと、どんどんぼうくんの世界が広がっていきます。読んだ後、きっとお絵描きがしたくなります。



「おまわりさんのきゅうじつ」  
中川 ひろたか // 文 村上 康成 // 絵  
(Gakken)

みんなの安全を守っているおまわりさんは、きゅうじつ何をしていますの？他にもおいしゃさんやえんちょうせんせいもおやすみの日はどんなことをしているのかな？街で働く大人たちの休日のをのぞいてみよう。



「きれてる」  
鈴木 のりたけ // 作  
(ポプラ社)

ふんわり甘くて美味しそうなロールケーキがある。ひときれきってあるけれど、もっと食べたいから、もう少しとっちゃおう！とおもったら、あれ、へんな形にきれてるよ！？次はどんな風にきれてるのかなとページをめくるのがたのしくなります。



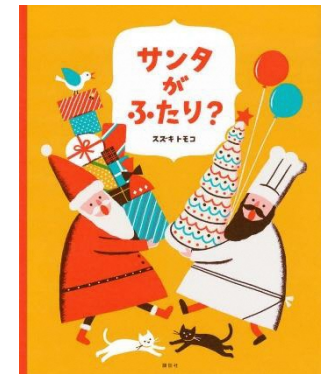
「きんぎょびじゅつかん」  
松沢 陽士 // 写真 高岡 昌江 // 文  
(ほるぷ出版)

きんぎょってこんなにいろんな種類や模様があるの！？美術館のように並べられた美しい金魚たちの写真をじーっとみてみよう。よくみると、同じ種類の金魚でも模様が違っておもしろい！金魚の名前や特徴もかいてあるから、金魚博士になれるかも。



「おんせんぽかぽか」  
パト メナ // 作絵 星野 由美 // 訳  
(岩崎書店)

寒くなるとあったかい温泉に入りたくなるのは私たち人間だけではないようです。雪山に住む、おさるさんたちが朝起きて一目散にみんなで温泉に向かいます。日本が大好きな外国人作家がかいたオノマトペが面白い、かわいくてあったかいお話です。



「サンタがふたり？」  
スズキ トモコ // 作  
(講談社)

クリスマスの日。1年で一番忙しい日を送るのはサンタさんとケーキ屋のマルタさん。そんな2人が思わぬハプニングで入れ替わってしまいました。でも、2人ともそれぞれの仕事を楽しんできて、…。クリスマスにぴったりの2人のサンタさんの物語。